



News Release

10-S-0066
2010年5月31日

＜ストラクチャード・ファイナンス＞ シンセティック CDO 定量分析モデルのファクター係数値改定について

JCR では、シンセティック CDO の参照プールに関する信用リスク評価のツールとして、2 ファクター企業価値モデルを採用している。企業価値モデルは、企業のバランスシートにおいて資産の価値が負債の価値を下回る事象をデフォルトとみなすことで、デフォルトの発生をモデル化したものである。JCR ではこの企業価値モデルを拡張し、2 種類の不確実に変動するファクターが企業価値に影響を与えるとする 2 ファクター企業価値モデルを使用している。

企業価値モデルは、参照プールを構成する参照体個別にデフォルトの発生の有無を評価するものであり、当該モデルを使用し、モンテカルロ・シミュレーションを行うことで参照プール全体の信用力を評価している（詳細は、JCR 格付け手法「シンセティック CDO：2007 年 8 月 8 日公表」http://www.jcr.co.jp/rat_stru/pdf/k_03.pdf 参照）。

JCR では、この 2 ファクター企業価値モデルにおける係数値の見直しを行い、その改定を行った。

今般の改定は、モデルのファクター係数値水準に関しての定期的な見直しの一環である。これには近年の経済環境、市場環境の変化を可能な限り織り込んでいる。改定の対象となったファクターには、景気変動等の全参照体に共通要因となりうるマーケットリスクに関するファクター（第 1 ファクター）と、参照体が属する業種の固有リスクに関するファクター（第 2 ファクター）とがあるが、それぞれの係数について見直しを実施した。

なお、今回の改定はこれら係数値の水準に関してのみであり、企業価値モデル自体を改定したものではない。

見直しの結果、第 1 ファクターの係数値の水準は変わらなかった。一方、第 2 ファクターの係数値については、「電機・精密機械・光学機械・事務用機械」「土木・建設」「不動産」などの業種で係数値の水準が低下し、デフォルト相関が低くなり、「銀行」「自動車・自動車部品」などの業種において係数値の水準が上昇し、デフォルト相関が高くなった。

上記ファクター係数値の改定は、本日より適用するものとする。なお、既存案件への適用は今後 1 ヶ月間をめどに行う予定であるが、これによる大幅な格付けの変更はないと判断している。

以上

お問合せ先：ストラクチャード・ファイナンス部 電話 03-3544-7023

FAX 03-3544-7028

電子メール sf.monitor@jcra.com

格付けは、信用すべき情報に基づいたJCRの意見の表明であり、その正確性、完全性、特定の目的への適合性等は一切保証されておりません。また、格付けは、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の売買・保有を推奨するものではありません。格付けは原則として発行者から対価を受領して行っております。

※無断コピー・転送は固くお断りします。

＜情報提供電子メディア（検索コード）＞

BLOOMBERG（和文：JCRA / 英文：JCR） REUTERS（EJCRA）
QUICK（和文：QR / 英文：QQ） JIJI PRESS 共同通信JLS

株式会社 **日本格付研究所**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル
<http://www.jcr.co.jp>

＜お問い合わせ先＞

情報・研修部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026